



つた ないよう
S: 伝えられる内容

基 本

例 文

- ① ガイドが、「これは有名な祭りです。」と言いました。
- ② ガイドが、これは有名な祭りだと言いました。
- ③ 田中さんは、「バスの中は少し暑いです。」と言いました。
- ④ 田中さんは、バスの中が少し暑いと言いました。
- ⑤ A: 中田さんを見かけませんでしたか。
B: さっき、「大変だ!」と言いながら、むこうへ走って行きましたよ。
- ⑥ 答えがわからなかったので、「わかりません。」と答えました。
- ⑦ バスは3時に出発すると聞きました。
- ⑧ あとで電話すると伝えてください。
- ⑨ A: ここに何と書いてあるんですか。
B: 写真を撮ってはいけないと書いてあります。
- ⑩ A: おなかがいっぱいで、もう食べられないとき、何と言ったらいいですか。
B: 「もう、けっこうです。」と言うんですよ。

- A. 「と」は、Sがある人の言った内容であることを示す。(例文①～⑩)
- B. ある人が言ったことをそのまま伝える。(例文①③⑤⑥⑩)
- C. ある人が言ったことを言い直して伝える。Sは常体形。(例文②④⑦⑧⑨)
- D. Bの場合、書かれた文では、Sを「 」で囲む。(例文①③⑤⑥⑩)

先生へ

Vは「言う、歌う、書く、数える、聞く、答える、説明する、たずねる、伝える、鳴く、話す、読む、呼ぶ」などの動詞。

話しことばでは、「と」は「って」となることがある。

例 A：中山さん、遅いですね。

B：そうですね。1時に来るって言っていたんですけど。

言い直して伝える場合、人称や動詞が変わることがある。

例 山本さんは、「4時にあなたのうちに行きます。」と言いました。

山本さんは、4時にわたしのうちに来ると言いました。

Sの文末とVの時制を一致させる必要はない。

伝える内容が疑問文の場合は、「SかどうかV」「疑問詞...かV」となるので、疑問文の引用はここでは練習しないこと。

依頼内容を伝える場合は、「VようにV」となるので、依頼文(「Vてください」)の引用はここでは練習しないこと。

<p>【関連項目】</p> <p>活-05 常体形</p> <p>文-38 とおもいます</p> <p>文-64 かどうか/疑問詞...か</p>	<p>【「れんしゅう編」の練習】</p> <p>16-4 おまわりさんの交番日記</p> <p>16-5 すずめのお宿</p> <p>19-6 山田さんへの手紙</p>
--	---